

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 20青少年育成費

◎青少年育成の経費

育成事業	【	青少年課	】
------	---	------	---

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち  
青少年育成: 青少年が健全に成長・発達しているまち

【事業の目的】

対象 青少年等

意図 地域社会における青少年等の健全育成のため。

効果 地域の青少年指導者として健全育成に関与するとともに、子ども達が様々な体験を通し心身ともに健やかに成長することを図る。

【事業の内容】

- (1) 育成事業
- ・研修会、講演会を開催し青少年指導員としての活動内容の向上に努めた。
  - ・デイキャンプ・スポーツ大会等小学生を対象とした各種事業を実施した。
  - ・成人のつどいを実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,833	7,833	7,286		547
主な支出内訳				
・ 育成事業				
青少年指導員報酬 71人				1,917
青少年問題協議会委員報酬 5人				100
青少年動向調査事務補助賃金				190
成人のつどい実行委員謝礼等				160
子ども会スポーツ大会事業委託料				180
育成の会連絡協議会事業委託料				1,000
シニアリーダーズクラブ研修事業委託料				50
成人のつどい事業委託料				1,796
成人のつどい会場使用料				255
子ども会育成連絡協議会補助金				238
青少年指導員連絡協議会補助金				417
青少年協会補助金				77
子ども会補助金				707
子ども会安全会補助金				0
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				489



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市子ども会育成連絡協議会(市子連)の加盟子ども会の減少。</li> <li>・青少年育成のための取り組みの継続。</li> </ul>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市子ども会育成連絡協議会(市子連)主催事業の周知に努め、市子連加盟促進について指導援助を行うとともに、市内各地域の子ども会へ運営費等の助成の周知に努めた結果、被補助団体(子ども会)が増加するなど、子ども会活動全般への支援を図った。</li> </ul>
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市子連参加子ども会を増やせなかった。</li> <li>・青少年問題協議会は幹事会の開催に止まり、協議会の開催はできなかった。</li> </ul>
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化のなかでのニーズの把握に努め、引き続き子ども会活動への助成を強めていく。</li> <li>・青少年問題協議会の課題を明確にし、会の開催を図る。</li> </ul>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	青少年の健全育成の課題はますます重要になっている。このため、青少年のニーズの把握に努め、引き続き多様な事業の推進を図りたい。また、平成22年度までに、青少年健全育成プランを策定したい。		
担当課長氏名:	青少年課長 山田 幸文		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	青少年健全育成は重要課題であり、青少年団体等への支援を積極的に継続するとともに、鎌倉市としての青少年育成の行政指針である青少年健全育成プランを平成22年度までに策定したい。		
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部 富夫